



角 笛 会 会 報

ホームページ: http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~tsuno_hp/index.shtml

発行所

日本大学生物資源科学部
獣医学科角笛会

〒252-0880

藤沢市亀井野 1 8 6 6

0 4 6 6 - 8 4 - 3 6 3 3



巻頭のご挨拶

角笛会会長 中 川 秀 樹 (昭和40年卒)

を養成するために一日も早く日本大学も学部教育の実現が必要であります。本学では昨年4月に森友忠昭、渋谷 久、五味浩司、本年4月には鯉江 洋、浅野和之、北川勝人、山谷吉樹の7名の先生方が教授に昇進され、新たな世代による指導が強化されました。教育、研究に力を割いて頂くことは当然として、一日も早い学部実現に取り組んで頂くことと、今後の我が国の獣医師が果たすべき責務を鑑みる教育理念の構築にも惜しみない努力を期待致すところであります。

本年も4月に130名を超える優秀な人材が入学して獣医師を目指して研鑽を始めました。最初の講義として「角笛会の役割とその在り方」が取り上げられて、母校の歴史、獣医師教育の変遷、角笛会の活動と役割について理解をして頂きました。獣医学教育100年を超える伝統を誇りとして、国際的に評価される日本の獣医師を養成する大学を目指し、その責務を果たして行くために会員各位の御指導と御支援をお願い申し上げます。

平成27年度総会は6月28日(日)に第53回日本大学獣医学会と合同開催され、予算案に引き続き、事業計画案に基づく準会員である獣医学科在校生支援として、新入生歓迎会、スポーツフェスタ助成、国家試験会場でのサポート、卒業生の成績優秀者表彰、卒業記念品の贈呈とANMEC支援基金による研究助成が承認されました。加えて、支部より推薦頂きました9名の先生方に角笛会功労賞が贈呈されました。長年、支部活動に御尽力頂きました先生方に心よりお祝いと感謝を申し上げます。初めての試みとして、会員から提言されました本学卒業生が経営する動物病院の就職相談会を総会当日、新1号館に於いて開催いたしました。

本年度の日本大学医療系同窓・校友学術講演会が9月26日に日本大会館で開催され、「家族」という本年度の共通テーマを題材として、「動物も家族と考える文化の背景—その一考察—」という演題で講演をさせて頂きました。

校友各位におかれましては後輩への助言、相談対応、指導などに暖かな力添えを賜りたく存じます。今後とも、母校の発展と角笛会の隆盛に一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。



ご 挨 拶

獣医学科主任 杉 谷 博 士 (昭和47年卒)

会長の中川秀樹先生を始め角笛会の先生方には、日頃より獣医学科の学生教育、研究活動にご支援とご協力を賜り、誠にありがたく存じております。厚くお礼を申し上げます。

当獣医学科は、本年3月に132名の卒業生を送り出しました。そのうちの131名が獣医師国家試験に臨み、116名が合格し、合格率は88.5%でした。本年も多くの獣医師を社会に送り出し、新卒業生は既にそれぞれの就職先で活躍を始めて

おります。

4月には137(男49、女88)名の新入生を迎え、現在の在籍者数は827(男350、女477)名です。女子学生の比率が昨年よりもさらに高い状態です。

現在、獣医学教育の質の保障と向上を目的とした取り組みが全国的になされており、(1)モデル・コア・カリキュラムの策定・実施、(2)教育研究体制の充実、(3)共用試験の導入・実施、(4)附属家畜病院・実習環境の改善、(5)分野別第三者評価の導入・実施の5つの柱が設けられております。当獣医学科でもこれに基づき、昨年4月よりモデル・コア・カリキュラムに沿った新カリキュラムを作成し、講義・実習を進めております。

教育研究体制の充実としても、研究室の新設やそれに即した人事を進めております。獣医外科学研究室では、浅野和之先生が教授に、枝村一弥先生が准教授に、関真美子先生が専任講師に昇格しました。今まで総合臨床獣医学研究室がありましたがそれを閉鎖し、獣医神経病研究室、獣医麻酔・呼吸器学研究室および獣医歯科学研究室を新設しました。獣医神経病研究室には北川勝人先生が教授として、伊藤大介先生が専任講師として就任されました。獣医麻酔・呼吸器学研究室には山谷吉樹先生が教授として、手島健次先生が専任講師として就任されました。獣医歯科学研究室には大場茂夫先生が特任教授として就任され、後輩の育成に励まれておられます。また、獣医産業動物臨床研究室を新設し、堀北哲也先生が教授として、大野真美子先生が助教として就任されました。さらに、基礎系でも研究室を新設し、獣医病態生理学研究室には鯉江 洋先生が教授として、分子生物学研究室には獣医生化学研究室内の成田貴則先生が専任講師として就任されました。獣医生化学研究室内の岡林 堅先生、獣医伝染病研究室内の熊圭祐先生、獣医臨床病理学研究室の丸山治彦先生、獣医解剖学研究室の安井 禎先生が専任講師に昇格され、獣医微生物学研究室の佐藤 豪先生は今年3月にご退職されたので、その後に木庭雅達先生が助手として就任されました。当獣医学科には5名の実習助手がありますが、今年3月に小柳智恵さんをご退職され、その後に植松愛梨沙さんが実習助手として就任され、お手伝いを頂きながら教育・研究の充実に励んでいるところです。

共用試験に関しては、7月には獣医系大学間獣医学教育支援機構が特定非営利活動(NPO)法人として設置され、この機構を中心として試験の実施に向けた取り組みが進められています。当獣医学科も、CBT(Computer Based Testing)で使用するコンピュータやソフトのチェックを全教員で行い、準備を進めております。また、OSCE(Objective Structured Clinical Examination; 客観的臨床能力試験)もプログラム案が作成され、ANMECの診療室を使用しての試行が学生を含めて行われました。着実に共用試験の準備が進められていることとなります。

附属家畜病院・実習環境の改善に関しては、有給研修医制度の見直しなども行っております。今までは4年の研修コースが設け

られておりましたが、前2年と後2年の段階的なコースに変更をしました。また、試験日を早め、採用人数も増やしました。次年度は10名の研修医の採用が決まっています。

分野別第三者評価については、未だ本学はスタートしてはおりませんが、現在、東京大学と日本獣医生命科学大学において評価内容の事前チェックが行われ、それがきちんと整理がなされた時点で本学も評価対象になる予定です。

獣医学系私立大学の話も提供いたします。獣医学系私立大学は、酪農学園大学、北里大学、日本獣医生命科学大学、麻布大学および本学の5つですが、それぞれの大学の特色を生かしながら、1つの組織としても機能すべく動きが始まり、今年2月より一般社団法人として活動を開始いたしました。これも、獣医学教育の質の保障と向上を目的とした取り組みの一環であり、私立大学間の情報交換がスムーズに行われるようになり、目的達成に大いに貢献することが期待されます。

さて、来年9月には、当獣医学科が日本獣医学会学術集会の当番校に当たっており、丸山総一先生を大会長、遠矢幸伸先生を準備委員長として、「獣医学が紡ぐOne Health」をテーマに準備が進められております。学部キャンパスでは新しい校舎の建設が進み、来年の春には新しい講義室が使用できるようになります。獣医学会はその新しい講義室を使用して行われる予定ですので、母校を訪れる機会として、ぜひ獣医学会にもふってご参加ください。

少しホットな学部の話は、本年12月に、現在学部長をお務めになっておられる河野英一先生がご定年されるにあたり、新学部長候補者選挙が行われました。その結果、食品ビジネス学科の大矢祐治先生が新学部長候補として選ばれております。一方で、大学への入学定員に関するルールが厳しくなり、現在、定員の1.2倍まで受け入れることができるのですが、平成30年には1.1倍に制限されることが決まっております。それによる大学への収入が減少するために、大学によっては教員数を減らして対応をしようという案も出ていていると聞いております。学生への教育の質保障に教員の数は重要でありますので、安易にそのような提案がなされないような新学部長体制が望まれます。

学内外のことを織り交ぜてご紹介を致しましたが、何事においても、当獣医学科の教員だけで成し遂げることはできません。角笛会の先生方との交流を深め、折に触れご意見を頂戴し、それを生かしながら教員一丸となって、よりよい教育・研究の環境作りを推進したいと思います。

角笛会の皆様には一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共にご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

平成27年度角笛会総会・第53回日本大学獣医学会開催

事務局長 鯉 江 洋



功労者の授与式

平成27年6月28日(日)、日本大学生物資源科学部1号館第151講義室において平成27年度角笛会総会及び第53回日本大学獣医学会が開催され、多くの会員が集まりました。日本大学獣医学会では森田幸雄担当学会長のもと、口頭発表による10題の一般講演、次いで教育講演として「臨床における分子遺伝学～遺伝子から動物の健康を科学する～」と題し、渋谷久先生(獣医分子病理学研究室)、玉原智史先生(相模大野プリモ動物病院)、植松洋介先生(株式会社ケーナインラボ)、丸山治彦先生(獣医臨床病理学研究室)により行われました。本年度も一般講演と教育講演の時間を大幅に確保したプログラムとなり、会場からの熱心な質問も多く、内容の充実した学会となりました。

角笛会総会では中川秀樹会長より挨拶があり、浜田圭議長(昭和59年卒)の進行で審議が行われました。総会に先立ち、諸先生方のご訃報に際し、黙祷が行われました。平成26年度の事業活動および会計収支報告があり、承認されました。また平成27年度の事業活動および予算案が審議され、満場一致で承認されました。角笛会の発展に貢献した角笛会功労者として長谷川良博氏(福島県)、平野功氏(岩手県)、橋本勝弘氏(埼玉県)、松川定治氏(東京都)、東島肇氏(岐阜県)、益田誠氏(奈良県)、広瀬一氏(大分県)、山口光弘氏(宮崎県)、代々木博氏(茨城県)の9人に賞状と記念品が授与され、角笛会特別功労者として阪田実氏(神奈川県)が表彰されました。また日本大学動物病院の獣医臨床技術の向上と臨床獣医学研究の活性化を目的としたANMEC支援基金研究助成は、原洋平氏(研究課題:イヌの鼻腔内局所免疫機構に関する研究)が受賞しました。総会后、食堂3階にて開催された懇親会には学部校友会の関村具由副会長をはじめ他学科同僚校友会の来賓、角笛会校友、大学教員そして学部生(準会員)など多数の参加者が集まりました。代々木博氏(昭和41年卒)の乾杯の音頭で開幕し、にぎやかに談笑するうちに時間が流れ、盛会裏に終了しました。



懇親会の様子

【第53回日本大学獣医学会プログラム】

会 長：丸山総一(日本大学 生物資源科学部)

副会長：直井昌之(直井動物病院)、亘 敏広(日本大学 生物資源科学部) 担当学会長：森田幸雄(東京家政大学)

教育講演 臨床における分子遺伝学
～遺伝子から動物の健康を科学する～
座長：森友忠昭(比較免疫学研究室)、齋藤光芳(獣医薬理学研究室)
1. 動物の遺伝性疾患・基礎編
渋谷久(獣医分子病理学研究室)
2. Clinical Genetics～臨床における遺伝性疾患への対応について～
玉原智史(相模大野プリモ動物病院)
3. 国内検査会社で行っている遺伝病の遺伝子検査
植松洋介(ケーナインラボ)
4. 犬と猫の先天性止血異常症の診断
丸山治彦(獣医臨床病理学研究室)

座長：北川勝人(獣医神経病学研究室)
4. NSAIDs点眼液によるイヌ実験的ぶどう膜炎モデルにおける炎症予防効果
○滝山直昭、加藤礼子、杉山 明、原田智之
5. 犬の後十字靱帯における前外側帯および後内側帯の機能解剖
○種子島真司、小川高寛、安川慎二、手島健次、関真美子、浅野和之、枝村一弥

一般講演(口頭発表)
座長：関真美子(獣医外科学研究室)
1. 犬の滑膜肉腫と滑膜組織の免疫組織化学的比較検討
○山田裕一、鈴木 隆、渋谷 久、山本成実、浅野和之、枝村一弥、佐藤常男
2. 頭部斜位背腹X線像による鼻腔視認性の改善
○米原悠祥、中島詩織、伊藤七美、高橋朋子、中山智宏
3. マイクロミニ豚と一般豚における出生後3カ月齢までの血中IGF-1濃度、血中GH濃度および体重との関係
○土井彬宏、西原このか、大滝忠利、万谷綾奈、桑原 康、津曲茂久

座長：小林由紀(獣医衛生学研究室)
6. イヌ腎臓尿細管上皮細胞由来細胞におけるインターロイキン-1β刺激と血清飢餓培養のNeutrophil gelatinase associated lipocalin (NGAL) 発現への影響
○今野忠好、関宮 遼、中野 令、脇坂拓磨、関口翔子、岡林 堅、成田貴則、杉谷博士
7. ペット用カメにおけるChlamydia DNA検出状況
○高橋龍樹、河野木綿佳、田中大地、壁谷英則、佐藤真伍、宇根有美、丸山総一

座長：佐藤真伍（獣医公衆衛生研究室）

8．2ヵ月齢の子牛に発生した地方病性牛白血病症例の解析
○小熊圭祐、泉對 博

9．イルカにおける臓器特異的損傷マーカーの探索
ーマイクロRNAを指標にー
○瀬川太雄、小林由紀、稲本理子、新田野乃、鈴木美和、遠藤智子、伊藤琢也

座長：佐藤真伍（獣医公衆衛生研究室）

10．多包条虫Echinococcus multilocularis由来ホスホエノール
ピルビン酸カルボキシキナーゼ遺伝子のクローニング
○山口美咲、檜出拓哉、松本 淳

総会資料

平成26年度 一般会計収支決算報告書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)					
(単位：円)					
収入の部					
科目	予算額	決算額	差 異	備 考	
1. 支部会費	1,300,000	1,419,000	△ 119,000	1419人×1,000円	
2. 準会員費	2,500,000	2,403,000	97,000	校友会本部	
3. 学部校友会交付金	200,000	200,000	0	学部より	
4. 雑収入	324	163	161	利息等	
5. 前年度繰越額	1,016,676	1,016,676	0	平成26年度分	
収入合計 (A)	5,017,000	5,038,839	△ 21,839		
支出の部					
科目	予算額	決算額	差 異	備 考	
1. 経常費	1,820,000	1,263,813	556,187		
(1) 会合費	20,000	2,948	17,052	会議等	
(2) 交際費	300,000	255,791	44,209	支部総会祝い金・慶弔費等	
(3) 旅費交通費	920,000	437,894	482,106	支部総会旅費等	
(4) 通信運搬費	80,000	90,985	△ 10,985	通信料・郵送料	
(5) 事務局運営費	500,000	476,145	23,805	給付・消耗品等	
2. 会報費	350,000	465,534	△ 115,534	会報30号（送付送料）部数増加	
3. 名簿管理費	230,000	31,998	198,002	業務委託費等	
4. 準会員支援費	900,000	1,113,441	△ 213,441	社会公益、国家試験、学内行事等支援	
5. 褒賞費	200,000	89,856	110,144	功労賞	
6. 学生会補助費	200,000	200,000	0	第55回日本大学獣医学学会	
7. 補助費	130,000	130,000	0	第13回日本大学獣医系同窓・校友会	
8. 組織拡充費	300,000	346,307	△ 46,307	ホームページ管理費	
9. 特別会計Ⅰ	0	0	0	名簿会計へ	
10. 特別会計Ⅱ	500,000	500,000	0	将来事業基金・AMREC支援基金	
11. 特別会計Ⅲ	200,000	200,000	0	角笛会学生支援基金	
12. 予備費	187,000	0	187,000		
支出合計 (B)	5,017,000	4,340,949	676,051	※東京11銀行	

平成26年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 697,890 円

平成26年度 懇親会費収支報告書

(単位：円)			
収入の部			
科目	予算額	決算額	備 考
懇親会参加費		275,000	45人×5000円、医展
準会員参加費		221,800	本会計（準会員支援費より）
収入合計		496,800	
支出の部			
科目	予算額	決算額	備 考
懇親会費		496,800	

平成27年度 一般会計予算(案)

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)					
収入の部					
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	
1. 支部会員費	1,400,000	1,300,000	100,000	1300名×1000円	
2. 準会員費	2,500,000	2,500,000	0	校友会本部より	
3. 学部校友会交付金	200,000	200,000	0	学部より	
4. 雑収入	110	324	△ 214	借金利息等	
5. 前年度繰越額	697,890	1,016,676	△ 318,786		
収入合計	4,798,000	5,017,000	△ 219,000		
支出の部					
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	
1. 経常費	1,750,000	1,820,000	△ 60,000		
(1) 会合費	20,000	20,000	0	会議等	
(2) 交際費	300,000	300,000	0	支部総会等旅費	
(3) 旅費交通費	960,000	920,000	40,000	支部総会等旅費	
(4) 通信運搬費	80,000	80,000	0	通信	
(5) 事務局運営費	400,000	500,000	△ 100,000	給付、ソフト等	
2. 会報費	350,000	350,000	0	会報31号	
3. 名簿管理費	100,000	230,000	△ 130,000	業務委託等	
4. 準会員支援費	1,000,000	900,000	100,000	※入会・卒業生記念品、懇親会材料など	
5. 褒賞費	100,000	200,000	△ 100,000	功労賞・角笛会会長賞・特別賞	
6. 学生会補助費	200,000	200,000	0	第55回日本大学獣医学学会	
7. 医療系校友会補助費	130,000	130,000	0	第14回日本大学医歯薬系同窓・校友会	
8. 組織拡充費	400,000	300,000	100,000	ホームページ管理費	
9. 特別会計Ⅰ	0	0	0	名簿作成繰入金	
10. 特別会計Ⅱ	500,000	500,000	0	将来事業繰入金・AMREC支援基金	
11. 特別会計Ⅲ	200,000	200,000	0	角笛会学生会支援基金	
12. 予備費	58,000	187,000	△ 129,000		
支出合計	4,798,000	5,017,000	△ 219,000		

平成26年度 特別会計Ⅰ収支決算報告書【名簿会計】

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：円)

収入の部					
科目	予算額	決算額	差 異	備 考	
1. 名簿作成繰入金	0	0	0	平成26年度分	
2. 雑収入	84	528	△ 444	利息	
3. 前年度繰越額	3,250,916	3,250,916	0		
収入合計(A)	3,251,000	3,251,444	△ 444		
支出の部					
科目	予算額	決算額	差 異	備 考	
1. 名簿作成積立金	3,251,000	0	3,251,000		
2. 雑支出	0	0	0		
支出合計(B)	3,251,000	0	3,251,000		

平成26年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B)

3,251,444 円

平成26年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 3,251,444 円

平成26年度 特別会計Ⅱ収支決算報告書【将来事業資金】

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：円)					
収入の部					
科目	予算額	決算額	差 異	備 考	
1. 将来事業繰入金	200,000	200,000	0	平成26年度分	
2. AMREC研究助成金	300,000	300,000	0		
3. 雑収入	799	719	80	利息	
4. 繰越額	3,447,201	3,447,201	0		
収入合計 (A)	3,948,000	3,947,920	80		
支出の部					
科目	予算額	決算額	差 異	備 考	
1. 将来事業積立金	3,342,000	0	3,342,000		
2. AMREC研究助成金	300,000	300,000	0	AMREC支援基金	
3. 予備費	105,000	0	105,000		
支出合計 (B)	3,747,000	300,000	3,447,000		

平成26年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 3,647,920 円

平成26年度 特別会計Ⅲ収支決算報告書【支援基金】

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

収入の部					
科目	予算額	決算額	差 異	備 考	
1. 角笛会支援基金	200,000	200,000	0	平成27年度分	
2. 雑収入	0	0	0		
3. 繰越額	1,100,000	1,100,000	0		
収入合計 (A)	1,300,000	1,300,000	0		

(単位：円)

支出の部					
科目	予算額	決算額	差 異	備 考	
1. 角笛会支援基金	1,300,000	0	1,300,000		
支出合計 (B)	1,300,000	0	1,300,000		

(備考：特別会計Ⅲの雑収入は特別会計Ⅱの雑収入に含まれる。)

(備考：特別会計Ⅲの雑収入は特別会計Ⅱの雑収入内に含まれる。)

平成26年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 1,300,000 円

平成27年度 特別会計Ⅰ予算【名簿会計】(案)

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)					
収入の部					
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	
1. 名簿作成繰入金	0	0	0	一般会計より	
2. 雑収入	556	84	472	借金利息等	
3. 繰越額	3,251,444	3,250,916	528		
収入予算合計	3,252,000	3,251,000	1,000		

(単位：円)					
支出の部					
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	
1. 名簿作成積立金	3,252,000	3,251,000	1,000		
2. 雑支出	0	0	0		
支出予算合計	3,252,000	3,251,000	1,000		

平成27年度 特別会計Ⅱ予算【将来事業資金】(案)

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)					
収入の部					
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	
1. 将来事業積立金	200,000	200,000	0	一般会計より	
2. AMREC支援基金	300,000	300,000	0	一般会計より	
3. 雑収入	80	799	△ 719	借金利息等	
4. 繰越額	3,647,920	3,447,201	200,719		
収入予算合計	4,148,000	3,948,000	200,000		
支出の部					
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	
1. 将来事業積立金	3,743,000	3,342,000	401,000	特別会計Ⅱ及びⅢが一般会計年度の繰上	
2. AMREC支援基金	300,000	300,000	0		
3. 予備費	105,000	105,000	0		
支出合計	4,148,000	3,747,000	401,000		

平成27年度 特別会計Ⅲ予算【支援基金】(案)

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位: 円)					
収入の部					
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	
1. 角笛会学生支援基金	200,000	200,000	0		
2. 雑収入	0	0	0		
3. 繰越額	1,100,000	1,100,000	200,000		
収入予算合計	1,300,000	1,300,000	200,000		
支出の部					
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	
1. 角笛会学生支援基金	1,500,000	1,300,000	200,000		
支出合計	1,500,000	1,300,000			

(備考: 特別会計田の雑収入は特別会計Ⅱの雑収入内に含まれる。)

(備考：特別会計Ⅲの雑収入は特別会計Ⅱの雑収入内に含まれる。)

動物病院だより

平成27年度日本大学動物病院 (ANMEC) 便り

動物病院長 津曲 茂久

わが国の獣医学教育の向上を目指して獣医学教育モデル・コアカリキュラムが作成され、現在科目数は51科目設定されております。科目数がそのまま研究室またはユニットになるわけではありませんが、獣医学科の新しいカリキュラムはすでにコアカリキュラムに即した科目に変更されております。そのような獣医学教育の動向と臨床教員の年齢差を考慮して、今年から臨床系では新しい研究室（ユニット含む）が4つ増えました。獣医麻酔・呼吸器学（山谷教授、手島専任講師）、獣医神経病学（北川教授、伊藤専任講師）、獣医歯科学（大場特任教授）の研究室が増設され、その代わり従来の総合臨床獣医学研究室は廃止されました。さら産業動物の内科と外科を担当する獣医産業動物臨床研究室（堀北教授、大野助教）が新設されました。従って、臨床系研究室は従来の6研究室から9研究室（ユニット含む）になりました。

全国的な獣医学教育改革運動の中で、現在共用試験の準備が進められております。共用試験は医学、歯学および薬学ではすでに実施されており、5年次の参加型臨床実習を受ける前に十分な獣医学的知識と基礎臨床技術があるか否かを試験するためのものです。早い大学では平成28年度、多くは29年度に実施される予定ですが、当学科では新カリキュラムに沿って平成30年度に実施する予定です。今年はコンピューターを使った学説試験（CBT）のトライアル（試行）を全獣医学科教員が参加して実施しました。またANMECの診察室を使って、学生数十人と全獣医学科教員が参加して動物モデルや模擬患者を使った実地試験（OSCE）のトライアルも行いました。

現在の有給研修医制度が発足して15年ほど経過しましたが、最近応募者数が減少していることから、1年間かけて募集要項改訂を検討して来しました。今年は新しい募集要項に基づき、採用試験の実施時期も1ヵ月以上前倒しました。その結果、多くの学生が応募し次年度は10名の採用が内定しております。

ANMECの初代CT（1列）は角笛会会員約3000名からご寄付を頂き購入しました。そのお蔭でANMECが飛躍的に成長する原動力になったと認識しております。その後二代目のCT（16列）に入れ替わりましたが、すでに10年以上が経過しておりました。そこで今年の9月には三代目のCT（320列）導入されました。このCTは日大医学部に設置された機種と同等以上の性能を誇り、無麻酔での撮影（麻酔不可の場合）や心臓の動画撮影も可能な優れた機種です。従って、今後新鋭のCT性能を駆使したCT画像を提供できるものと期待しております。尚、初代CT購入に際しご寄付頂いた方全員のお名前を記した銘板はCT撮影室の壁に設置されており今でも拝見できます（写真）。



ANMECセミナー開催報告

ANMEC セミナーは、臨床に必要な基礎から新知見まで網羅した多くの情報の発信源です。ご興味をお持ちの先生方は、どうぞご参加ください。

平成26年度 ANMECセミナー開催（第216回～第220回）

第216回（H26.11.17開催）

演題：「循環器外科」

Dr. Daniel James Brockman

（英国王立獣医科大学 日本大学生物資源科学部 非常勤講師）

第217回（H26.12.15開催）

演題：「犬と猫の輸血」

井手香織先生（東京農工大学 農学部 共同獣医学科）

第218回（H27.1.26開催）

演題：「白内障？どうする？」

滝山直昭先生（獣医内科学研究室）

第219回（H27.2.23開催）

演題：「酪農学園大学生産動物医療学分野での研修報告と牛の超音波画像診断の有用性」

大野真美子先生（獣医臨床繁殖学研究室）

第220回（H27.3.16開催）

演題：「研修医修了予定者による症例検討会」

ANMEC 有給研修医 6名

平成27年度 ANMECセミナー開催（第221回～第225回）

第221回（H27.4.20開催）

演題：「獣医療における腹腔鏡手術の基礎と実際」

永岡大典先生

（みなとよこはま動物病院、小動物外科レジデント）

第222回（H27.5.18開催）

演題：「小動物病院における獣医療従事者によるオーラルケア指導の課題と対策」

堀北哲也先生（獣医産業動物臨床研究室）

第223回（H27.7.13開催）

演題：「ブリーダーに負けない犬の繁殖知識と技術」

津曲茂久先生（獣医臨床繁殖学研究室）

第224回（H27.9.28開催）

演題：「犬と猫の糖尿病の基本のキ」

松木直章先生（東京大学 獣医臨床病理学研究室）

第225回（H27.10.19開催）

演題：「小動物の歯科治療」

大場茂夫先生（獣医歯科学研究室）

動物医科学研究センターセミナー開催報告

動物医科学研究センターセミナー開催 (第102回～第112回)

第102回 (H26.11.11開催)

演題：「日本・アジアにおける市販食品の微生物汚染実態
および食品由来感染症の発生状況」

森田幸雄先生 (東京家政大学家政学部栄養学科 教授)

第103回 (H26.12.9開催)

演題：「野生動物と生態系を守る新たな一手を求めて」

三谷奈保先生 (日本大学生物資源科学部生物環境工学科 助教)

第104回 (H27.1.13開催)

演題：「国の"ちから"を強くする獣医学教育」

Dr. Jumpei Kimura (国立ソウル大学獣医学部 教授)

第105回 (H27.2.10開催)

演題：「ヒトと動物のインフルエンザ」

堀本泰介先生 (東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授)

第106回 (H27.3.10開催)

演題：「新たなCD8 T細胞集団を誘導する組換えBCGワクチン
～多剤耐性結核の制御を目指して～」

相澤志保子先生

(日本大学医学部病態病理学系微生物学分 准教授)

第107回 (H27.5.12開催)

演題：「野生鳥獣肉の衛生管理に関する指針の策定について」

小西 豊先生 (厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課)

第108回 (H27.6.2開催)

演題：「食としての野生動物肉"シビエ"の課題

～野生鳥獣由来食肉の安全性確保に関する研究～」

高井伸二先生 (北里大学獣医学部獣医学科獣医衛生学教室)

第109回 (H27.7.14開催)

演題：「野生鳥獣による農作物被害対策と資源化の関係
～動物と人の行動学～」

江口祐輔先生

(近畿中国四国農業研究センター

畜産草地・鳥獣害研究領域 鳥獣害対策研究グループ)

第110回 (H27.9.15開催)

演題：「動物における自然発症アレルギー疾患について
～スギ花粉症を中心に～」

阪口雅弘先生

(麻布大学獣医学部獣医学科微生物第1研究室 教授)

第111回 (H27.10.6開催)

演題：「気管支喘息などのアレルギー性疾患をおこす病原性記憶Th2細胞」

平原 潔先生

(千葉大学大学院医学研究院

先進気道アレルギー学寄付講座 准教授)

特別セミナー (共催：大学院特別講義) H27.10.9開催

演題：「Rabies update (最近の狂犬病の話題)」

Dr. Bruno B. Chomel

(カリフォルニア大学デビス校 教授)

第112回 (H27.11.10開催)

演題：「新興・再興コロナウイルス感染症について」

白戸憲也先生 (国立感染症研究所ウイルス第3部 主任研究官)

獣医学科の近況

【獣医師国家試験】

第66回獣医師国家試験が平成27年2月17日、2月18日にTOC有明4階にて行われました。日本大学獣医学科から131名が受験し、116名が合格しました。合格率は88.5% (全国平均84.8%) でした。

【表彰、受賞】

平成26年度の卒業生のうち優等賞が大島綾華さん、学部長賞が木幡えり奈さん、畑中ちひろさん、日本獣医師会長賞が榎原 陸さん、角笛会長賞が久津間隆広さん、藤田麻衣さん、角笛会特別賞が上田恵里佳さんにそれぞれ授与されました。

【博士(獣医学)の学位取得者】

課程博士：曾布川英人氏、中野 令氏、船山麻理菜氏

【退 職】

佐藤 豪助手 (獣医微生物学研究室) が退職されました。

【人事・昇格】

山谷吉樹先生 (新設：獣医麻酔・呼吸器学研究室)、浅野和之先生 (獣医外科学研究室)、鯉江 洋先生 (新設：獣医病態生理学研究室)、北川勝人先生 (新設：獣医神経病学研究室) が教授に、枝村一弥先生 (獣医外科学研究室) が准教授に、岡林 堅先生 (獣医生化学研究室)、丸山治彦先生 (獣医臨床病理学研究室)、安井 禎先生 (獣医解剖学研究室)、成田貴則先生 (新設：分子生物学研究室)、手島健次先生 (異動：獣医麻酔・呼吸器学研究室)、伊藤大介先生 (異動：獣医神経病学研究室)、関真美子先生 (異動：獣医外科学研究室)、小熊圭祐先生 (獣医伝染病学研究室) が専任講師に、大野真美子先生 (異動：獣医産業動物臨床研究室) が助教に昇格されました。大場茂夫教授が総合臨床獣医学研究室から新設の獣医歯科学研究室に異動されました。

【新 任】

堀北哲也教授 (新設：獣医産業動物臨床研究室)、木庭猿達助手 (獣医微生物学研究室)、植松愛梨沙実習助手 (家畜病院) が採用されました。

■新任の先生の自己紹介



(獣医産業動物臨床研究室)
堀北哲也教授

2015年4月に新設された獣医産業動物臨床研究室の教授職に着任いたしました堀北哲也と申します。よろしくお願い申し上げます。私は1986年に東京農工大学修士課程を修了し同年千葉県農業共済組合連合会（ちばNOSAI連）に入会し、その後本年3月に退職するまでの29年間、7カ所の家畜診療所での牛および豚を対象とした診療業務と家畜部での事務業務（2年間）を経験しました。在職中の2005年に岐阜大学連合大学院において「乳牛のアカバネ病に関する獣医経済学的研究ならびにその流行予測」に関する研究で獣医学博士号を取得いたしました。日大に来て強く思うことは、日大は産業動物関連の教育資源に恵まれているということです。首都圏にありながら大学内に搾乳牛がおりいつでも牛に触れることができます。また近隣には学生を伴った診療実習を受け入れてくれる酪農家があり、学生も熱心に産業動物の授業や実習に取り組んでいると感じます。このような資源や環境をフルに活用して産業動物の教育や研究に取り組んでいきたいと思っております。皆様のご指導・ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。



(獣医微生物学研究室)
木庭隼達助手

平成27年4月1日より本学獣医微生物学研究室に助手として着任致しました木庭隼達と申します。私は、平成22年に本学獣医学科を卒業致しました。在学中は獣医伝染病学区研究室に所属しており、ネコ白血病ウイルスの複製を制御する宿主因子に着目して研究を行ってきました。ウイルスが宿主タンパクをどのように利用して複製をおこなっているのか、また、宿主タンパクによってどのように抑制されるかなど、ウイルスー宿主間の相互作用について大変興味があったので、学位取得後も同様の研究に従事しております。研究者としての経験も浅く、教育者としても分からないことだらけですが、本学に貢献できる人材になれるよう尽力したいと思います。本学ならびに本会員の先生方にはご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程宜しくよろしくお願い申し上げます。

■平成27年度獣医学科入試状況

選抜方法	募集人員	受験者数	合格者数	競争率
本校試験（第1期）	35名	1,125名	103名	10.9倍
本校試験（第2期）	15名	656名	19名	34.5倍
センター試験利用	10名	596名	20名	29.8倍
一般推薦（公募制）	学部全体で100名	44名	22名	2.0倍
一般推薦（公募制・関連産業後継者）	学部全体で27名	19名	14名	1.4倍
校友子女推薦（公募制）	学部全体で28名	14名	12名	1.2倍

■学年担任（平成27年度）

- 1年次 五味浩司教授（獣医解剖学）、鈴木由紀助教（獣医衛生学）、西村知良准教授（一般教養）
- 2年次 渋谷 久教授（獣医分子病理学）、高橋朋子専任講師（獣医放射線学）
- 3年次 亘 敏広教授（獣医内科学）、大滝忠利専任講師（獣医臨床繁殖学）
- 4年次 鯉江 洋教授（獣医病態生理学）、齋藤光芳助教（獣医薬理学）
- 5年次 遠矢幸伸教授（獣医微生物学）、岡林 堅専任講師（獣医生化学）
- 6年次 中山智宏教授（獣医放射線学）、佐藤雪太准教授（実験動物学）



トピックス

第14回日本大学医療系同窓・校友学術講演会の開催

事務局長 鯉江

洋 (平成2年卒)



第14回日本大学医療系同窓・校友(医学部同窓会、歯学部同窓会、松戸歯学部同窓会、薬学部校友会、獣医学科校友会・角笛会)学術講演会は平成27年9月26日(土)松戸歯学部主幹で「家族」をテーマにシンポジウム形式で開催されました。第11回から共通テーマを設けており、講演後に開催する総合討論で自由な情報交換が行われました。角笛会からは、角笛会会長の中川秀樹先生(昭和40年卒)が「動物も家族と考える文化の背景—その一考察—」と題して発表しました。

講演会後の懇親会は、学部を超えた懇親の輪が広がってありました。日本大学医療系同窓・交友学術講演会は毎年9、10月頃開催し、日本大学医療系学部の校友が集う唯一の講演会で、来年の当番校は角笛会です。また日本獣医師会の獣医師生涯研修プログラムの単位認定がありますので、角笛会会員以外の獣医師もお誘いの上、是非ご参加ください。

◎第14回日本大学医療系同窓・校友学術講演会

日 時：平成27年9月26日(土) 13:30~17:30

場 所：日本大学会館 大講堂

開会の辞

阿部正也(当番学部・日本大学松戸歯学部同窓会会長)

来賓挨拶

大塚吉兵衛(日本大学学長)

テーマ：家族

第1講演 歯学部同窓会

・家族と病院歯科を結ぶ包括的口腔ケア

演者：秋葉正一(総合病院国保旭中央病院 歯科・歯科口腔外科部長)

座長：大谷賢二(歯学部歯科補綴学第Ⅱ講座 専任講師)

第2講演 医学部同窓会

・健康な長寿社会は家族の幸せ

一高齢化社会の到来における心血管病の予防、治療戦略—

演者：谷 樹昌(医学部内科学系循環器内科学分野 准教授・日本大学病院健診センター長)

座長：平山晃康(医学部脳神経外科系神経外科学分野 教授/医学部同窓会 渉外担当理事)

第3講演 薬学部校友会

・在宅医療と家族支援—自宅療養支援から学んだこと—

演者：齊藤直裕(ゆう薬局 薬局次長)

座長：林 宏行(薬学部薬物治療学研究室 教授)

第4講演 生物資源科学部獣医学科校友会・角笛会

・動物も家族と考える文化の背景—その一考察—

演者：中川秀樹(生物資源科学部獣医学科校友会角笛会 会長)

座長：鯉江 洋(生物資源科学部獣医学科獣医病態生理学研究室 教授)

第5講演 松戸歯学部同窓会

・高齢期の食を家族と支える

—フレイル・認知症との付きあいかた—

演者：平野 浩彦(東京都健康長寿医療センター研究所 専門副部長)

座長：飯野 文彦(松戸歯学部同窓会 学術委員)

閉会の辞

鎌田 寛(次回当番学部・生物資源科学部獣医学科獣医臨床病理学研究室 教授)

懇親会

司会・進行：宇都宮忠彦(松戸歯学部口腔病理学講座 准教授)

平成26年度 角笛会支部総会・他学科分科会の活動状況と派遣者一覧

平成26年度は全国の21支部へ教員を派遣しました。多くの支部が活発に活動している様子がうかがえます。

H26年 5月10日(土)	富嶽会(農学校校友会)	中 川 秀 樹	9月10日(水)	角笛会北海道支部(札幌市)	津曲茂久、教員12名
6月7日(土)	い も づ る 会	中 川 秀 樹	9月27日(土)	短期大学部湘南校友会(生物資源科学部)	中 川 秀 樹
6月14日(土)	桜 水 会	中 川 秀 樹	10月4日(土)	角笛会岐阜県支部(岐阜市)	壁 谷 英 則
6月28日(土)	満 喜 葉 会	中 川 秀 樹	10月11日(土)	角笛会福岡県支部(博多市)	森 友 忠 昭
7月5日(土)	角笛会埼玉県支部	渋谷 久	10月25日(土)	角笛会岩手県支部(花巻市)	鯉 江 洋
7月18日(金)	角笛会福島県支部	鯉 江 洋	11月20日(土)	角笛会神奈川県支部(生物資源科学部)	中川秀樹、教員22名
7月26日(土)	角笛会東京都支部	渋谷 久	H27年 2月7日(土)	角笛会千葉県支部(千葉市)	佐 藤 雪 太
7月27日(日)	角笛会栃木県支部	北 川 勝 人	2月8日(日)	角笛会茨城県支部(水戸市)	渋谷 久
8月17日(日)	角笛会高知県支部	津 曲 茂 久	3月8日(日)	角笛会群馬県支部(高崎市)	酒 井 健 夫
8月23日(土)	角笛会東北北海道支部	鎌 田 寛	3月22日(日)	角笛会静岡県支部(静岡市)	亘 敏 広
9月6日(土)	角笛会熊本県支部	津 曲 茂 久			(敬称略)

平成27年度 角笛会支部総会・他学科分科会の活動状況と派遣者一覧

平成27年度も昨年と同様に各支部総会に教員を派遣しています(平成27年10月16日現在)。石川県支部総会では本部教員が数十年ぶりに参加いたしました。教員の派遣を希望される支部は事務局までご一報ください。

H27年 5月16日(土)	富嶽会(農学校校友会)	中 川 秀 樹	8月8日(土)	東北北海道支部(帯広市)	鯉 江 洋
6月13日(土)	F T 会	中 川 秀 樹	8月30日(日)	北海道支部(札幌市)	北 川 勝 人
6月27日(土)	短期大学部湘南校友会	中 川 秀 樹	9月5日(土)	熊本県支部(熊本市)	鯉 江 洋
7月4日(土)	桜 水 会	中 川 秀 樹	9月18日(金)	石川県支部(七尾市)	鯉 江 洋
7月11日(土)	学 部 校 友 会 総 会	中 川 秀 樹他	10月3日(土)	岐阜県支部(岐阜市)	加 納 壘
7月17日(金)	福島県支部(福島市)	渋谷 久	10月24日(土)	福岡県・佐賀県支部合同(嬉野市)	北 川 勝 人
7月24日(金)	岡山県NOSAI支部(真庭市)	津 曲 茂 久	10月24日(土)	岩手県支部(花巻市)	丸 山 総 一
7月26日(日)	新潟県支部(新潟市)	岡 林 堅	11月22日(日)	長崎県支部(諫早市)	渋谷 久
7月26日(日)	京都府支部(京都市)	鎌 田 寛			(敬称略)

角笛会関連記事(支部だより)

■群馬県支部だより

◆平成26年 角笛会群馬県支部総会

平成26年次の支部総会は、3月2日(日)に交通の便の良さから最近は通例になっている「ホテルメトロポリタン高崎」で、大学からは北川勝人准教授(総合臨床獣医学研究室、現:獣医神経病学区研究室 教授、平成2年卒)をお招きして開催されました。

例年は2月の開催でしたが、獣医内科学アカデミー(2月7～9日)・学会年次大会(2月21日～23日)と大きなイベントが重なっていた上に、2月8日(土)の降雪と14日(金)には前橋気象台の歴史118年で初の積雪73cmを記録した大雪で、農畜産物や交通網・車庫の倒壊などの甚大な被害が生じていて、獣医師会の行事なども順延になったりしていた時期でもありましたが、当日は心配された積雪もなく、40名を超える参加をいただきました。

総会の開催に先立ち、平成25年度に他界された増田 勇氏(昭和29年卒)・川堀良治氏(昭和47年卒)・加藤悦朗氏(昭和61年卒)に黙祷を捧げました。

同窓生のご逝去を惜しみ、心からのご冥福をお祈りいたします。

平成23年の開催時には、以前からの慣例にならって退職を控えた外科の田中茂男先生と手島健次先生の2名の先生をお呼びするという、贅沢な総会をしたのですが、田中義朗事務局長が角笛会事務局の渋谷 久准教授(獣医病理学区研究室、現:獣医分子病理学区研究室 教授 昭和62年卒)から、「教員の招聘は1人にしていただけますか?」という希望を聞かされ、それ以降は1人の来賓の先生に祝辞と記念講演をしていただくことが慣例になりました。

医療系の全ての学部を有している総合大学としての日大で開催されている、「日本大学医療系同窓・校友学術講演会」(H25.10.5・土)は12回目となり、今回のメインテーマは「高齢化について」で、獣医学科からの代表のスピーカーが北川先生でした。「高齢動物における神経疾患の診断治療の現状」のテーマで講演されていたので、記念講演は「大学の近況と犬猫の神経疾患」をお願いした次第でした。

出席した支部会員は、県内各地より 上は昭和44年卒の先輩から、最年少は平成25年の卒業生までと幅広く参加をしてもらえ、その中には現在在学中の学生の親、今年見事日大獣医学科に入学を果たした3名の親、次回 受験を控えた親や親・娘と3代に渡って日大の卒業生という同窓生もいらっしゃいました。

北川先生と同期は、多胡充人氏と矢内 功氏で「ヤー」「オー」と懐かしそうに声を掛け合っており、総会・講演会・懇親会・二次会共に和やかに歓談していたのが印象的でした。

北川先生は、返って「同級生が居るので緊張した!」とのご感想でした。

懇親会終了時には、昨年足の亀裂骨折をして松葉杖を使用しながらも 名物「日大節」の音頭をとってもらった伊藤昌司氏(昭和61年卒・県健康福祉部)に、1年ぶりだという圧巻の日大節を舞って盛り上げてもらいました。

その後、全員で集合の記念撮影をしてお開きとなりましたが、ホテルメトロポリタン高崎に宿泊の手続きをしたという北川先生とは、矢内氏を含めた10人ほどで二次会に移行し、閉店で追い出されるまで歓談に花が咲きました。

北川先生は、お酒も強いようで、顔色一つ変えず講演内容に関係した神経疾患に関する細かな質問から、学生時代の思い出、日大獣医学科の実情・伝説に至るまで、幅広く何でも答えていただきました。

「こんな事、話していいのかなー!」と前置きして、獣医学科教員の動向やプライベート・評価、教員の給与、獣医学科の学部化の話、などなど・・・

現在の日大の臨床系は、設備・人材共に多いに自慢できるほど充実している事を改めて実感した一日でもありました。

文責:支部長 田村 幸生(昭和45年卒)

■新潟県支部だより

◆平成27年度 角笛会新潟県支部総会にて

平成27年7月26日(日)に新潟市の万代シルバーホテルにて、角笛会新潟県支部総会、講演会、研究発表および懇親会が開催されました。例年並みの会員数74名中30人の参加となりました。隔年で大学より先生をお招きしており、今年度はお忙しい中、生化学研究部の岡林先生にお越し頂きました。通常総会後に岡林先生より「大学の近況と角笛会について」と言う演題で講演していただきました。続いて会員の職種に関する研究発表を2題行い、終了後に岡林先生を交えて懇親会を開催しました。



参加者全員での記念写真

懇親会では老若男女の境なく、和気藹々で楽しく語り合いました。日大獣医学科の伝統により様々な時代の話に花が咲いており、若い会員や年配の会員がお互いの話に耳を傾けあっていました。楽しい時間はすぐ過ぎ去り、また来年の再開を願って閉会となりました。最近では若い会員の参加も増え、以前より支部全体が若くなった印象があります。地方では卒業生が少ないので、県内に就職された卒業生にはぜひ初年度から参加していただけるようにしたいと思っております。

文責：新潟県支部事務局 新野 猛 (平成4年卒)



■東北海道支部総会

平成27年8月8日(土)、「とかちプラザ」にて開催。
第15回記念総会でした。 派遣教員：鯉江 洋



■熊本県支部総会

平成27年9月5日(土)、「メルパルク熊本」にて開催。会員による腹話術で大変盛り上がりしました。

派遣教員：鯉江 洋



■石川県支部総会

平成27年9月18日(金)、「のど楽」にて開催。数十年ぶりの教員派遣とのこと。

派遣教員：鯉江 洋



事務局よりお願い

「支部だより」「同期会だより」を充実させるため、総会・懇親会で撮影した写真と文章をお送りください。各支部の様子を写真付きで紹介させていただきます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

支部総会に現職教員を派遣します。ご要望がありましたら、事務局までご相談ください。



角笛会関連記事(同期会だより)

■博友会(昭和33年卒)総会 (平成27年7月9,10日)



7～8人が隅田川の船乗りで浅草に向かいました。

梅雨にも拘わらず、皆さん、お集まり、一年振りの懐かしい話に癒されれば幸いです。しかし、我々も高齢と成り、幹事役は次第に困難と成り、定例としての会合は「如何」と言う声が上がりました。其処で皆さんの了解を得て、今後は不定期に有志の自発的提起によって、幹事経験者が協力して開催する事に了解を得たいと思います。又、博友会の方々の動向については出来るだけ情報を共有出来る様にしたいと考えますので、協力お願いしたいと幹事から挨拶がありました。10日(金)は久し振りに太陽が輝き、

文責：堀口 隆嘉

■ 昭和52年卒同期会



日本大学獣医学科同期会 2015年3月7日 日大藤沢キャンパス

昭和52年卒同期会の幹事より事務局にお礼の手紙が届きました。

先日の昭和52年3月卒の同期会におきましては講演会、学内見学、懇親会に至るまで大変お世話になり、ありがとうございました。おかげ様で、無事、盛会裡に同期会を終えることができました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

長沢美恵子

日本大学生物資源科学部獣医学科教員

(敬称略
H27.4.1現在)

〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866
電話：0466-84-3800 (代表)

【獣医解剖学研究室】	6号館	教授 五味 浩司 専任講師 安井 禎
【獣医病理学研究室】	6号館	教授 佐藤 常男
【獣医分子病理学研究室】	6号館	教授 渋谷 久
【獣医薬理学研究室】	6号館	教授 浅野 隆司 助教 齋藤 光芳
【獣医微生物学研究室】	6号館	教授 遠矢 幸伸 助手 木庭 隼達
【獣医生理学研究室】	6号館	教授 金山 喜一
【獣医病態生理学研究室】	6号館	教授 鯉江 洋
【獣医生化学研究室】	6号館	教授 杉谷 博士 専任講師 岡林 堅
【分子生物学研究室】	6号館	専任講師 成田 貴則
【医動物学研究室】	6号館	教授 野上 貞雄 准教授 松本 淳
【獣医臨床繁殖学研究室】	9号館	教授 津曲 茂久 専任講師 大滝 忠利
【獣医外科学研究室】	9号館	教授 浅野 和之 准教授 枝村 一弥 専任講師 関 真美子
【獣医臨床病理学研究室】	9号館	教授 鎌田 寛 准教授 加納 壘 専任講師 丸山 治彦
【獣医内科学研究室】	9号館	教授 亘 敏広 准教授 坂井 学 助教 滝山 直昭
【獣医放射線学研究室】	9号館	教授 中山 智広 専任講師 高橋 朋子

【獣医衛生学研究室】	動物医科学研究センター	准教授 伊藤 琢也 助教 鈴木 由紀
【魚病学研究室】	動物医科学研究センター	教授 中西 照幸
【比較免疫学研究室】	動物医科学研究センター	教授 森友 忠昭
【獣医伝染病学研究室】	動物医科学研究センター	教授 泉對 博 専任講師 小熊 圭祐
【実験動物学研究室】	動物医科学研究センター	教授 湯川 眞嘉 准教授 佐藤 雪太
【獣医公衆衛生学研究室】	動物医科学研究センター	教授 丸山 総一 准教授 壁谷 英則 助手 佐藤 真伍
【獣医産業動物臨床研究室】	動物医科学研究センター	教授 堀北 哲也 助教 大野真美子
【獣医麻酔・呼吸器学研究室】	病院	教授 山谷 吉樹 専任講師 手島 健次
【獣医神経病学研究室】	病院	教授 北川 勝人 専任講師 伊藤 大介
【獣医歯科学研究室】	病院	特任教授 大場 茂夫

学会関連記事

第54回日本大学獣医学会開催案内

- 日 時：平成28年6月頃
- 場 所：未 定
- 問 合 せ：事務局

※角笛会のホームページは随時、更新されております。角笛会関係の行事予定、支部同窓会からのお知らせ、また最新の角笛会報など多くの情報を発信しております。さらにホームページから新住所の登録もできます。是非、お立ち寄りください。

ホームページアドレス
http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~tsuno_hp/index.shtml



事務局

〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866
日本大学生物資源科学部
獣医衛生学研究室 (伊藤 琢也)
TEL.0466-84-3375
E-mail: itou.takuya@nihon-u.ac.jp

編集後記

角笛会のホームページに掲載されている過去の角笛会会報を読み返すと、十数年間の獣医学科の変遷を振り返ることができます。そして、当時ご活躍されていた多くの先輩方、先生方の熱意も感じ取ることができます。私もその意思を継承して、角笛会、獣医学科の発展に寄与できるよう努力していきたいと思えます。角笛会会報にご意見、ご希望等がございましたら、獣医生化学研究室内の岡林 (okabayashi.ken@nihon-u.ac.jp) あるいは角笛会事務局 (tsuno-3@brs.nihon-u.ac.jp) までご連絡ください。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。(平成27年11月 岡林 堅 平成13年卒)